

病床日記

濱田隼雄

(四)

○月〇日
マダムは、製糖会社員だ。山の中の巡りさんで、山の中で

といふ年よりちどみ丸がはいりて、山の中で

人の良さどうな旦那様に迎へにまつて、昨日め

位の小父さんが入って來

て来た退院。そるさくなく

なつてあたしもおでたいと見つめられた。今朝四十

歳の小父さんは、間違ひかはに、閉ぢて眼を

山まじして油のきれ

かぶさり、顎から呼吸

のこらまで片つゝまれ

る。機架で運ばれ

た時か、低く吟り出

いた。とても

人間の聲とは思ひ

きり見えぬ。醫長さんが來

て二度も注射をしたが、汗

も知らないけど、何となく

氣になつて、うとく眠り

あたしも、枕の中から苦しい

て來なかつた。名前も事件

方達々病室へ運ばれて行

つた、そしてそのまゝ歸



5月2日
命せらる(昭和一)
エチオビオ皇帝亡
命セード

△征韓車長驅京城
に入る(文祿元)ヘ
ニチオビオ皇帝亡

○

全人類の中に安逸を貧

る権利を持つて居る者

は一人もない

スルト其年の年暮の事、

死んだらどうだらう。棺

蓋の助が來て、

「どうだ和歌吉まだ体は」

「死んでしまった」

「死んでしまつた」

増産もさる事なし

早く運び出さが必須要

製炭業を救への聲起る

木炭生産地としての演説
地方が如何に優秀な地歩を築きつめるかは、昨三十日内向組合事務所にて行はれた滋三郡木炭同業報國増産共進会委員會式の實況に従しても明かなる如一方消費地では以前提の土間に迄氾濫下、而もその他により益々難かしきは謂へ場所によつては依然將來を約束されてゐるが、たる品不足に、已むなく客の處搬出機械の苦し不ぞ客とも思はぬ底の商人か

く賃金の固定等、満幅の製購めて居るなどの事貨が多

く要を阻まればあり難る需

求を控

乍ら少からず業者

の發展を妨げてゐる

即ち之を最も手近な實例急ぐ施設も亦此際に必要に就て見るも水戸村上、とする處であり、机上の空下水井では六寸餘名の組論を離れて最も實際に即し合員が孜々生産を續ける能た指導的幹旋が當業者率見るべきものであるが現から非常に熱望されてゐる

在の事情から搬出遅々と

所得由生縮切る

各方面共好成績の豫想

地方管脚の説明懇談に印刷規範者の増加率等は右到物の対付に、船務署監局が着て共に制限する筈である

極力その周知徹底に努めた

新所得税法に基く所得税片

び營業収益税の課税標準

愈よ昨三月受理を締切つ

てかかるの期間内に申告を怠る

るこの老弱病瘡の家族に対する

査員選舉資格を得られたれることなるので各方面共比較的の恩典に浴れる外、近く行はるる新法實施第一次の解

本兵曹 松の内出

身海軍工機學校機關技術練習生松本新太郎三等機器兵

一日午前十一時七分發で出

けふ出發 日盛岡市

正副議長 二三兩

新潟市議會長出席

北六縣會議長出席

野崎・蓮沼王副議長は今

乳不足に福音！

愛婦で栄養補給

児童愛護運動のため

由つて製品の現金化を

出すこと、一日から實の指揮側の幹旋が當業者側

の児童愛護運動を期にし

ての兒童會ではん的資材確

保の見地から栄養補給に乘

る者と契約の上牛乳又は粉乳

を與給して著しく低下

した平分會にはこれに基き越

すとの徹底策を樹てる筈だが

今回の施設は出産率が半變

化の下準備を樂しむ人も

市内でも一坪庭に家庭園

にこつて最も大切な時季

に起因するものを見られて

るので會員、醫師、産婆

を與給して著しく低下

した平分會は会員が家

庭を訪問の上保育心得書を

交付して保育上の注意を與

りその發育不良は一般に榮

り樂觀を許さないものがあ

るが、それと同時に乳幼兒の体位も

父千代吉儀水々病氣療養中の處養

生不相叶二十日午前七時死亡致

同市葬

七勇士の合

市内の時局電話

會議を開き協議する

度事業計畫、各種農產物の增收などについても協議、席上獎勵金の交付式

を執行すること

五月曆面では早くも夏にならぬ爽快である。咲き初めながらもひづから

とは誰かの歌でないが「嘘のよな話」

運び出して貰つてこそ生産だ。疑せて置く増産獎勵などどうかと思ふ

の時局關係者に限られ、無

い各族を招き打合せを行

う。

△普通免許荒川久三(平)

△立町安齊金彌△新川町馬自浩△田町木幡文夫△中益鮫島弘道△田町佐藤政雄△鶴田小野兵吉△六間門奥津卯吉

△合格坂本惣四郎、鈴木一郎(平)鈴木八郎(植田)

△普通免許許可

△立町安齊金彌△新川町馬自浩△田町木幡文夫△中益鮫島弘道△田町佐藤政雄△鶴田小野兵吉△六間門奥津卯吉

△立町安齊金彌△新川町馬自浩